

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	5-3																															
PDCA	主要事業名	自治振興推進事業	部課名	企画部市民協働課	担当	新海																																
					内線	238																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 1 - 2 単位施策： コミュニティ活動 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 44,374 千円 会計 一般会計 歳出科目：02.01.12.18.01 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																					
	事業概要等	事業概要： 市内42の自治区が地域住民の福祉の増進を図るために行う自治活動が推進されるよう、自治振興費を交付する。また、地域担当職員の配置や半田市区長連絡協議会の運営、事業等をサポートすることにより、自治区の活気ある地域づくりを支援する。																																				
		事業目的： 市内42の自治区において、自治活動が推進されるよう支援を行う。																																				
		事業内容： 自治振興費の交付や地域担当職員の配置、半田市区長連絡協議会の運営、事業等について支援を行う。																																				
		問題点・課題等： 活発な自治活動を維持していくためには、地域担当職員からの情報等を有効活用し、各自治区の実情にあった支援をしていくことが必要である。																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	44,374 千円	自治区による地域運営について、資金面・活動面双方から支援を行うことで、持続可能且つ健全な地域運営ができているかを把握する必要があるため。																																				
	財源内訳	得られる成果																																				
	市費	自治区による地域運営を支援することで、地域の問題解決力を高めることができる。																																				
	44,374 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域担当職員配置地域数</td> <td>実績値 17</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>地区</td> </tr> <tr> <td>目標値 15</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>地区</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	地域担当職員配置地域数	実績値 17	19	19	地区	目標値 15	20	22	地区		実績値				目標値				その他	実績値				目標値		
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																		
地域担当職員配置地域数	実績値 17	19	19	地区																																		
	目標値 15	20	22	地区																																		
	実績値																																					
	目標値																																					
その他	実績値																																					
	目標値																																					
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																				
	44,364 千円	地域担当職員の配置や自治振興費の交付、区長連絡協議会での地域活動の取り組み状況等の情報共有により、コロナ禍での地域活動を適切に支援することができた。																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域担当職員配置地域数</td> <td>実績値 19</td> <td>地区</td> </tr> <tr> <td>目標値 22</td> <td>地区</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和3年度	単位	地域担当職員配置地域数	実績値 19	地区	目標値 22	地区																							
	成果指標	令和3年度	単位																																			
	地域担当職員配置地域数	実績値 19	地区																																			
		目標値 22	地区																																			
	C 課題の整理	事業の評価・課題	C																																			
			コロナ禍での地域活動となったが、自治区等事業実施に係る備品整備・更新やコロナによる規制情報の発信、地域担当職員による地域から要望調整等、適切な支援に努めた。地域担当職員には、持続可能な自治区活動に向けた取り組みの必要性など研修等を通じた知識の習得に努め、次年度以降の活動につなげることができた。																																			
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進																																				
		持続可能な自治区活動に向けて、役員等の負担軽減、事業整理の必要性、広域での共同実施等を地域担当職員を通じて各自治区に働きかけるとともに、半田市区長連絡協議会においての議論を促していく。さらに、地域担当職員が地域の声を傾聴し求められる支援をしていけるよう研修プログラムを組み、地域支援力の向上を図る。																																				
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 —																															
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																				

目標項目（予算計上時に作成）
 予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）
 主要施策の成果報告書で活用